

地方の卸売市場における 情報通信技術の活用

情報通信技術の活用(1)

松山市中央卸売市場

課題

- 松山市では、売買参加者である青果店やスーパーで、事業者の高齢化や卸売業者の動きなどにより、商品の仕入れが難しくなっていた
- また、利益率が低下しており、精緻な利益管理・在庫管理が必要になっていた

解決策

- 松山中央青果商業協同組合で、ITへの対応力がある青年部が中心となり、組合情報化事業をスタート
- EDI受発注システムの導入、卸売業者、仲卸業者、組合、組合員をオンラインでつなぎ、買上データの電子化によりデータ処理を迅速化
- POSレジを導入し、販売管理と仕入れ・在庫管理を連動
- (公財) えひめ産業振興財団などの補助を受けて取組み

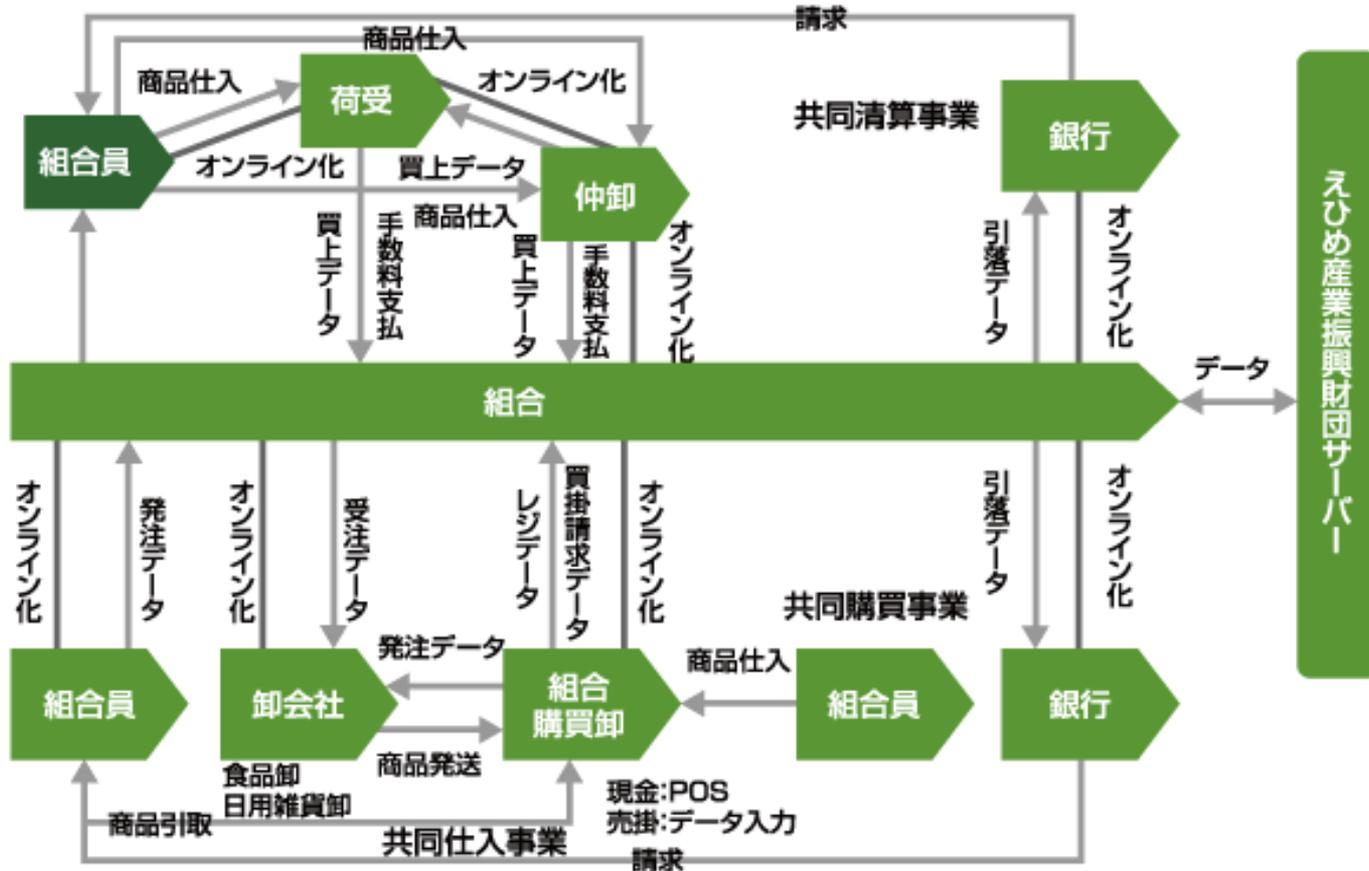
成果

- 取引の処理の迅速化、発注等の業務効率化
- 利益管理体制の構築

情報通信技術の活用(1)

松山市中央卸売市場

構築した仕組みのイメージ



出所：経済産業省「IT経営成功事例集」

http://www.meti.go.jp/policy/it_policy/it-keiei/itjirei/case2008/case_matsuyamachuoseika_01.html

情報通信技術の活用(2)

石巻青果(石巻青果花き地方卸売市場)

課題

- 受発注に関するIT化は既に済んでいるが、契約販売が年々増加しており、「作った物を売るではなく、売れる物を作る」といった予測時代に入ってきている
- 従ってその一つ前の工程である産地の情報（生育履歴など）もITで共有する必要がでてきた

解決策

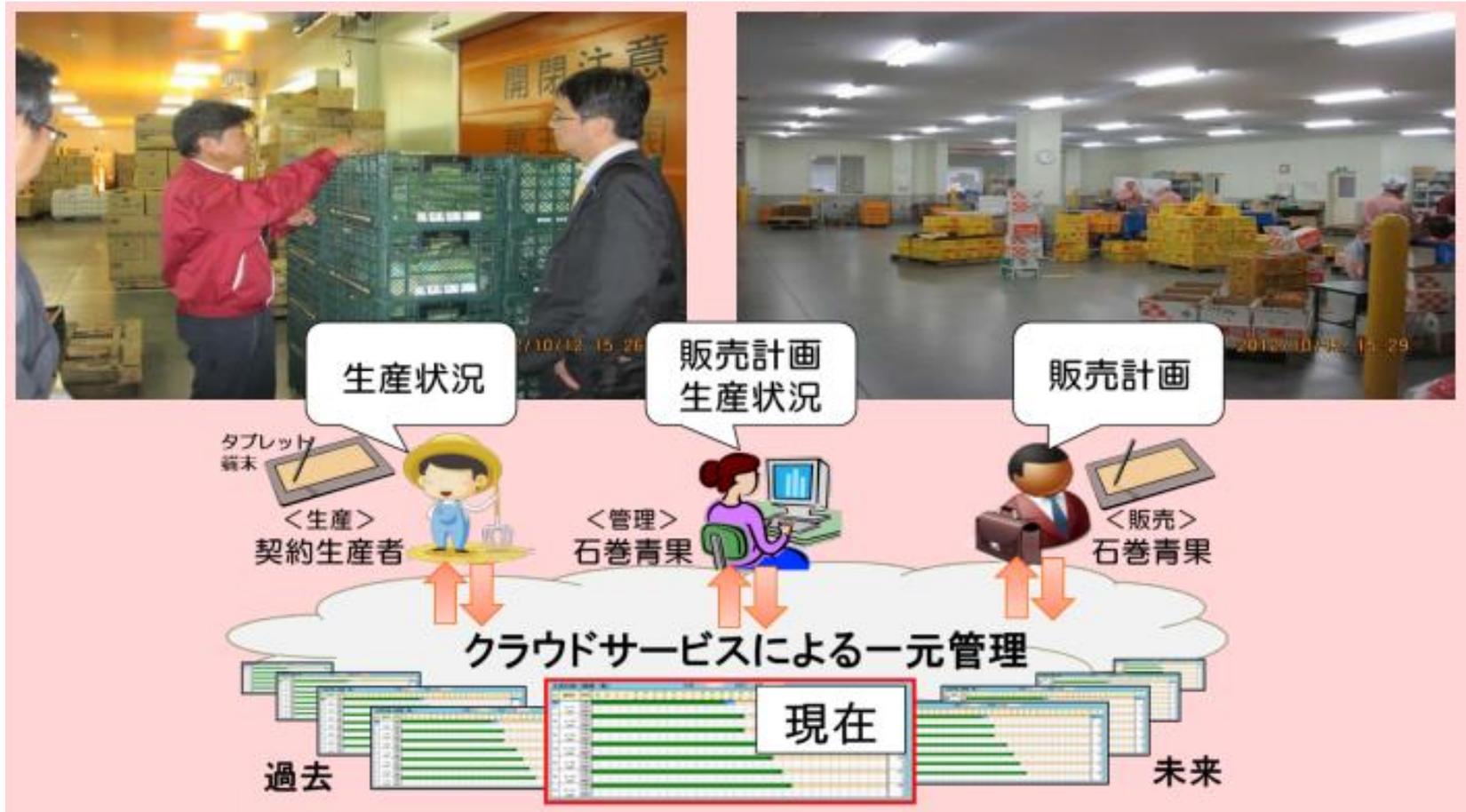
- 2012年から契約農家の栽培状況をタブレット端末を活用して把握・管理するシステムの実証実験を始めることにした
- 大手小売業1社と地元生産者の契約取引を対象とした実験
- 生産と販売の情報をWeb環境で一元管理し、生産者や販売・物流を行う関係者で情報共有
- 生産では契約農家がタブレット端末に雨量や温度などの情報を記帳、そのデータを基に生育状況を予測

成果と課題

- 市場における欠品防止や、生産者の生産管理に利用できるシステムを構築
- 現在は生産者の情報入力作業の負荷が原因で運用を停止しており、より使いやすい仕組みへの改良が必要になっている

情報通信技術の活用(2)

石巻青果(石巻青果花き地方卸売市場)



出所：農林水産省Webサイトより

<http://www.maff.go.jp/j/kanbo/joho/it/pdf/ishinomaki.pdf>